



取 付 説 明 書

TOYOTA
bB

BLITZ

〔1〕安全上のご注意

■ はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

■ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

■ 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのガソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 弊社剥き出しタイプのエアクリーナー(SUS POWER AIR CLEANER/SUS POWER CORE TYPE LM/SONIC POWER AIR CLEANER)を取り付けの際は、EFIヒューズを一度取り外し15秒以上経過後、再度ヒューズを接続してください。
- ・ エンジン始動後、アイドル状態状態で5～10分間放置してください。
- ・ 本キット内の、(27)フューエルコントローラは、絶対に分解・改造はしないでください。分解・改造した場合、燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合はエンジン破損の原因となります。
- ・ キット取り付けの際にフューエルサクシオンチューブ ASSY W/ポンプ(樹脂部分)を削り加工する作業がありますが、加工作業後はフューエルサクシオンチューブ ASSY W/ポンプを十分に洗浄し加工粉などを完全に除去してください。加工粉などがフューエルサクシオンチューブ ASSY W/ポンプ内に残っていると、エンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

■純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

〔2〕適合車種

◇製品名称：BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

□車 名：TOYOTA bB

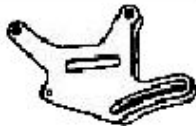
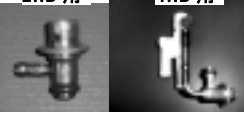
□型 式：NCP31

□E/G型式：1NZ-FE

□年 式：2000 年 1 月～2002 年 7 月

□製品番号：10171

[3] パーツリスト

構成部品及び付属品リスト				
①コンプレッサー本体 1個	② チャンバー 2個	③ ガasket 2個	④コンプレッサーブラケット 1個	
				
⑤オルタネータープーリー 1個	⑥ テンショナープーリー 1個	⑦ テンショナーボルト 1個	⑧ コンプレッサーステー 1個	
				
⑨デリバリーパイプカラー 1個	⑩コンプレッサーカラーA 1個 外径φ18 内径φ8.2 高さ11	⑪コンプレッサーカラーB 1個 外径φ18 内径φ8.2 高さ4	⑫ テンショナーカラー 1個 外径φ18 内径φ8.2 高さ23	
				
⑬ Vベルト 1個	⑭インテークパイプNO1 1個	⑮インテークパイプNO2 1個	⑯ インテークパイプNO3 1個	
				
⑰インテークパイプNO4 1個	⑱ シリコンホースφ60ーφ50 1個	⑲ シリコンホースφ54ーφ50 1個	⑳ シリコンホースφ50 4個	
				
㉑ ホースバンド 大 2個	㉒ ホースバンド 小 10個	㉓ フューエルポンプ 1個	㉔ スイッチ 1個	
				
㉕ リレーハーネス 1個	㉖ M6用カラー 1個	㉗フューエルコントローラー 1個	㉘レギュレーター 1個 2WD 用 4WD 用	
				
㉙フランジ付六角ボルト M6×16 8ヶ	㉚フランジ付六角ボルト M6×20 1ヶ	㉛フランジ付六角ボルト M6×40 4ヶ	㉜フランジ付六角ボルト M8×45 2ヶ	㉝フランジ付六角ボルト M8×50 1ヶ
㉞フランジ付六角ボルト M10×35 3ヶ	㉟キャップボルト M8×75 1ヶ	㊱フランジ付六角ナット M10×1.25 2ヶ	㊲ワッシャー M6用 1ヶ	㊳ワッシャー M8用 1ヶ
㊴タイラップ 10ヶ	㊵φ17-φ15カラー 1ヶ	㊶三方ニップル 8-4-8 1ヶ	㊷エレクトロタップ 端子・スリーブ	㊸ヒューズ 20A 1ヶ

〔4〕 純正部品取り外し作業



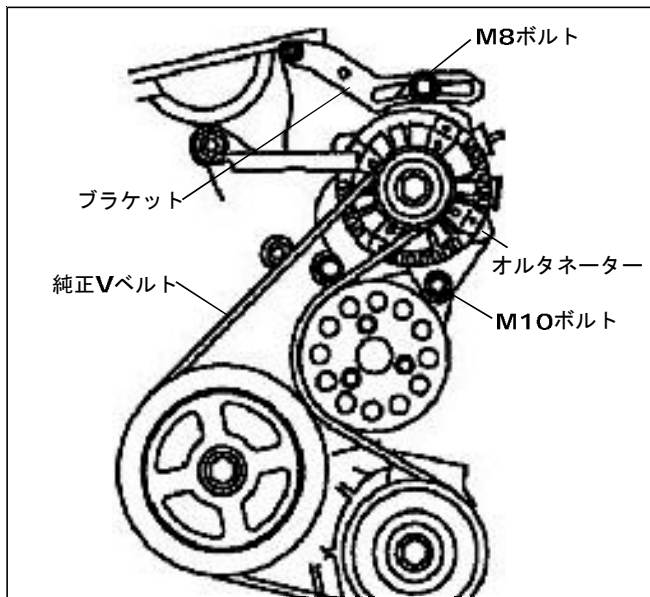
- (1) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
- (2) 純正ナット(4ヶ)を取り外し、エンジンフードカバーを取り外す。



- (3) スタッドボルトを緩め、ハーネスASSYをインテークマニホールドより取り外す。
- (4) ハーネスクランプ(2ヶ)をハーネスASSYより取り外す。



- (5) 図のようにインテークマニホールドのハーネスクランプ用ボスを切断する。
(片側のみ)



(6) オルタネーターの取り外し

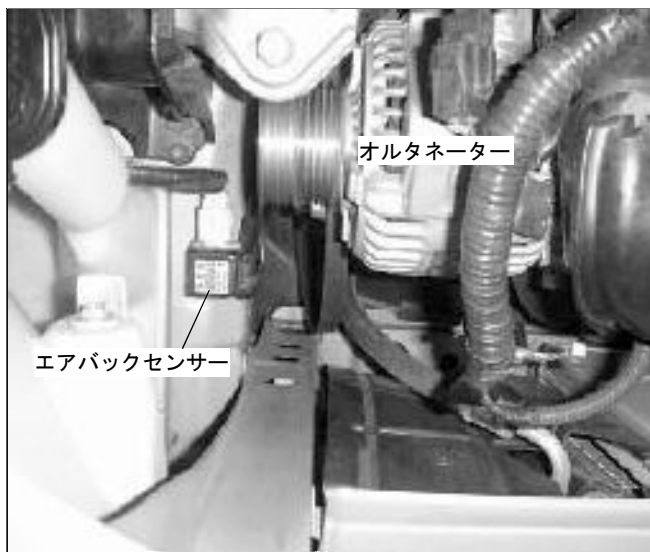
(a) オルタネーターの上側(M8)、下側(M10)のボルトを緩め、純正Vベルトを取り外す。

(b) オルタネーター部のカプラー、B端子を取り外し、ハーネスクランプをステーより取り外す。



(c) オルタネーター上部のM8ボルトを取り外しブラケットを取り外す。

※シリンダーヘッド側のスタッドボルトも取り外してください。



(d) エアバックセンサーを取り外し(ボルト2ヶ)、オルタネーター下側のM10ボルトを取り外す。

※エアバックセンサーを取り外さないとM10ボルトを抜く事が出来ません。

注 意 エアバックセンサーを取り外す前に再度バッテリーのマイナス端子を外してあるか確認してください。

(e) オルタネーター本体をエンジンより取り外す。



(7) 純正クランプ(2ヶ)を緩め、純正インテークホースを取り外す。

注 意

ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。

〔5〕コンプレッサーキット取り付け作業



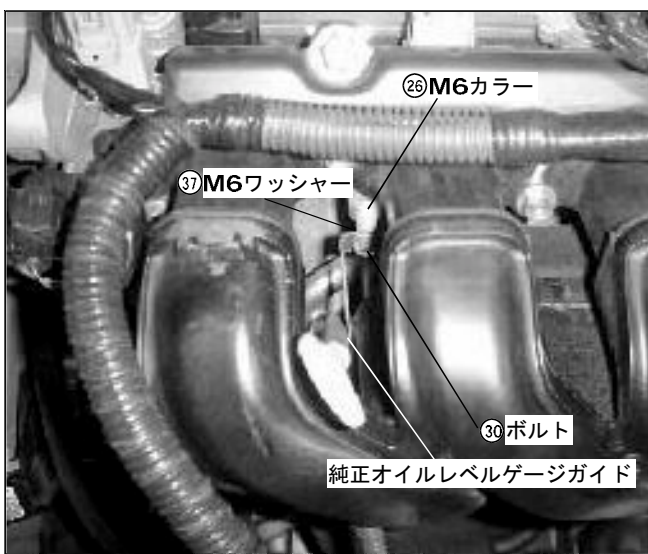
(1) 純正オルタネーターのセンターナットを緩め、純正プーリーを取り外し、
⑤オルタネータープーリーに付け変える。

※トルク 100.ON・m

注 意

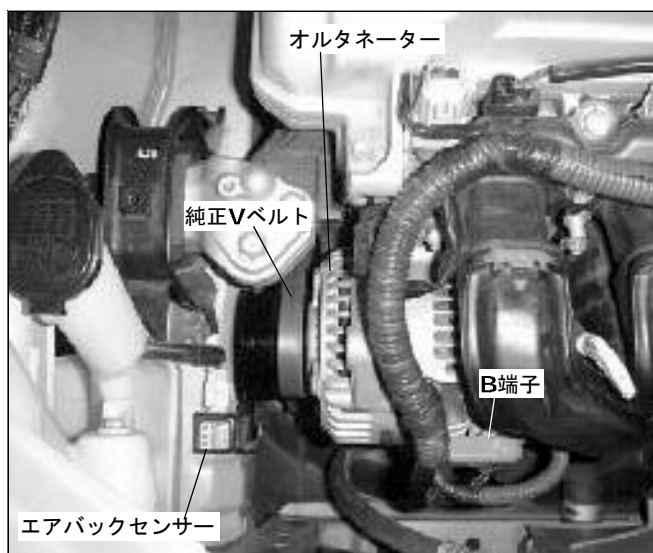
ネジ部にネジロック剤を塗布して下さい。

※車両によりオルタネーターのシャフトの径がφ15のものが 있습니다。その場合は付属の④0カラーを使用してください。

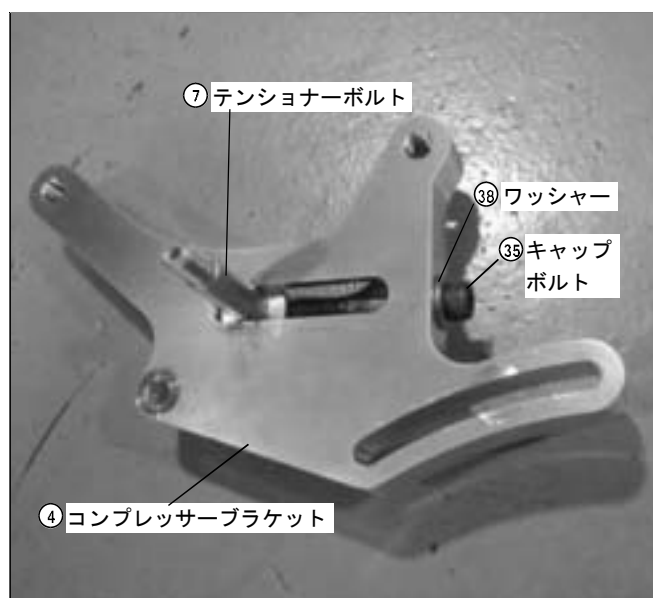


(2) 純正オイルレベルゲージガイドを止めているM6ボルトを取り外す。

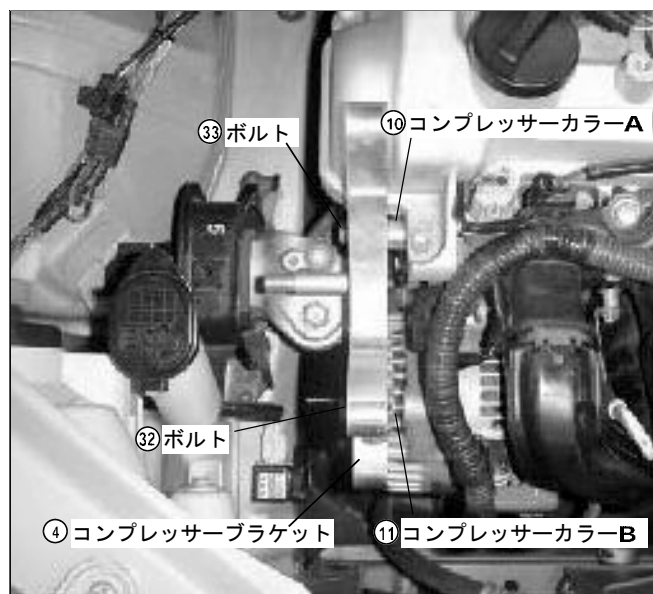
(3) 純正オイルレベルゲージガイドのステ一部分に、②6カラーと③7M6ワッシャーを挟み、③0ボルトで取り付ける。
※オイルレベルゲージがインテークマニホールドに近づきますので位置を調節してください。



- (4) オルタネーター本体をエンジンに取り付け、オルタネーター下側のM10ボルトを仮付けする。
- (5) 純正Vベルトを仮付けする。(オルタネータープーリーの内側にベルトを掛けて下さい)
- (6) オルタネーター部のカプラー、B端子、ハーネスクランプを取り付ける。
- (7) 先程取り外したエアバックセンサーを取り付ける。



- (8) ④ コンプレッサーブラケットに ⑦ テンショナーボルト、③⑤ キャップボルト、③⑧ ワッシャーを組み付ける。



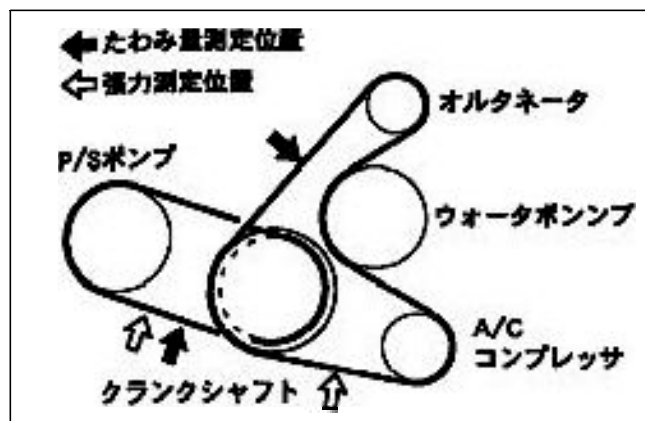
- (9) (8) で組み付けたコンプレッサーブラケットを ⑩ コンプレッサーカラーA、⑪ コンプレッサーカラーB、③② ボルト、③③ ボルトで仮止めする。



(10) 図の様にエクステンションバー等を使用し、たわみ量を調整してオルタネーター下側**M10**ボルト、コンプレッサーブラケット部のボルト(2ヶ)を本締めする。

※トルク **M8**ボルト 18.5 N・m

M10ボルト 54 N・m



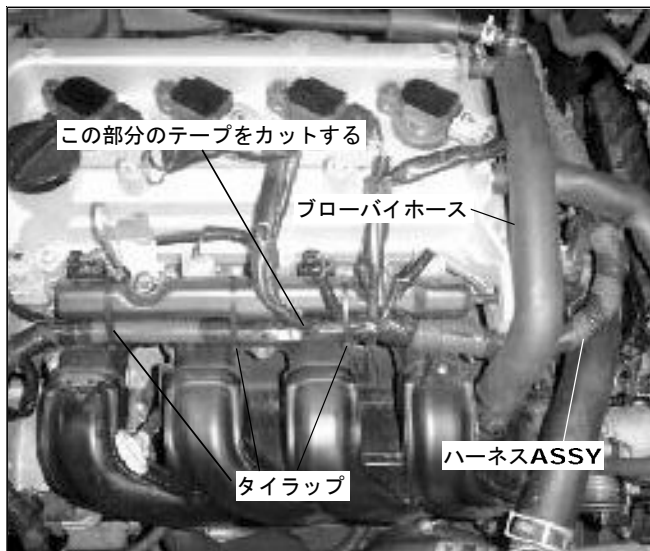
オルタネーター用Vベルトたわみ量

	新品取付時(mm)	点検時(mm)
Vベルト	7~8.5	11~13

(11) デリバリーパイプ部の樹脂カラー（エンジン右側）を取り外し、⑨ デリバリーパイプカラー、⑧ コンプレッサーステーを ③② ボルトで仮止める。

※エンジン左側のボルトを緩め、デリバリーパイプをずらして取り外してください。デリバリーパイプをずらす際、燃料の流出に注意してください。

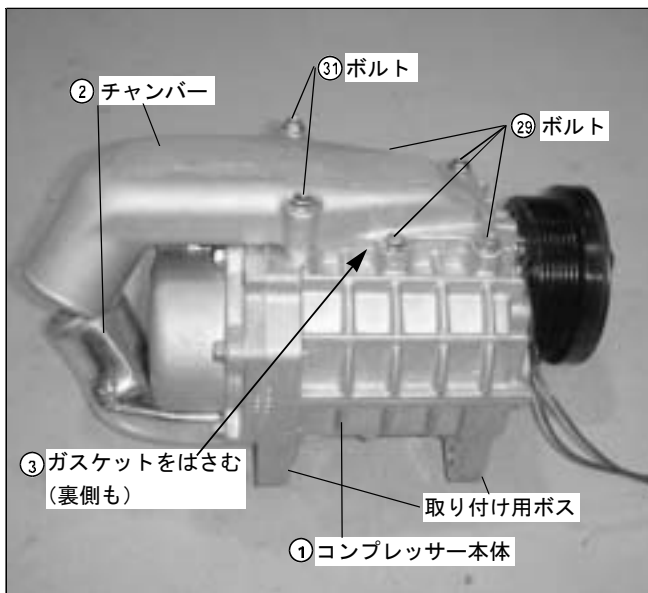




(12) 図中のブローバイホースを一度取り外し、ハーネスASSYをブローバイホースの下側を通し、デリバリーパイプと同じ高さのなるくらいまで下げ、図の様にタイラップで固定する。

※ブローバイホースは忘れずに元に戻してください。

※車両によりハーネスASSYがあまり下がらない場合があります。その際は図中部分のテープをカットし配線に余裕を持たせてください。



(13) ① コンプレッサー本体に ② チャンバー(2ヶ)を ③ ガasketをはさみ、②⑨ ボルト、③① ボルトを使用して組み付ける。

※トルク $10\text{N} \cdot \text{m}$

※コンプレッサー本体は図の用に取り付け用ボスが下向きとなります。コンプレッサープレートの張ってあるチャンバーを上側になるよう取り付けてください。



(14) (13)で組み付けたコンプレッサー本体を、③④ ボルト(3ヶ)、③⑥ ナットを使用して図の様に取り付け。

※トルク $35\text{N} \cdot \text{m}$

注 意 コンプレッサーから出ているハーネスはVベルト等に干渉しないように通して下さい。

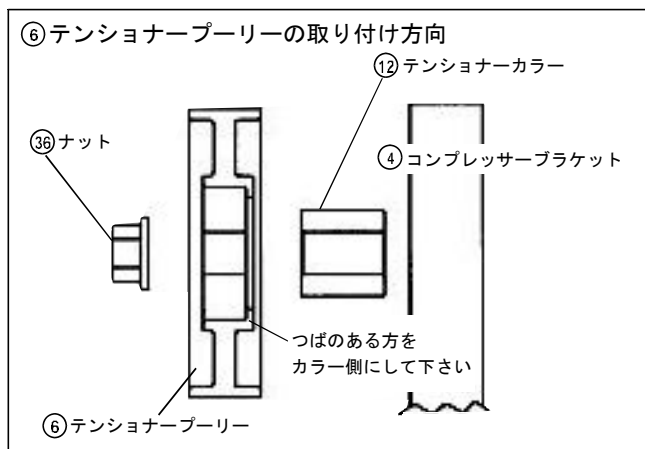
※車両、部品のばらつきによりインテークマニホールドとチャンバーが干渉する場合があります。その時は、インテークマニホールドを少し削ってください。

(15) ⑧ ステー部分の ③② ボルトを本締めする。

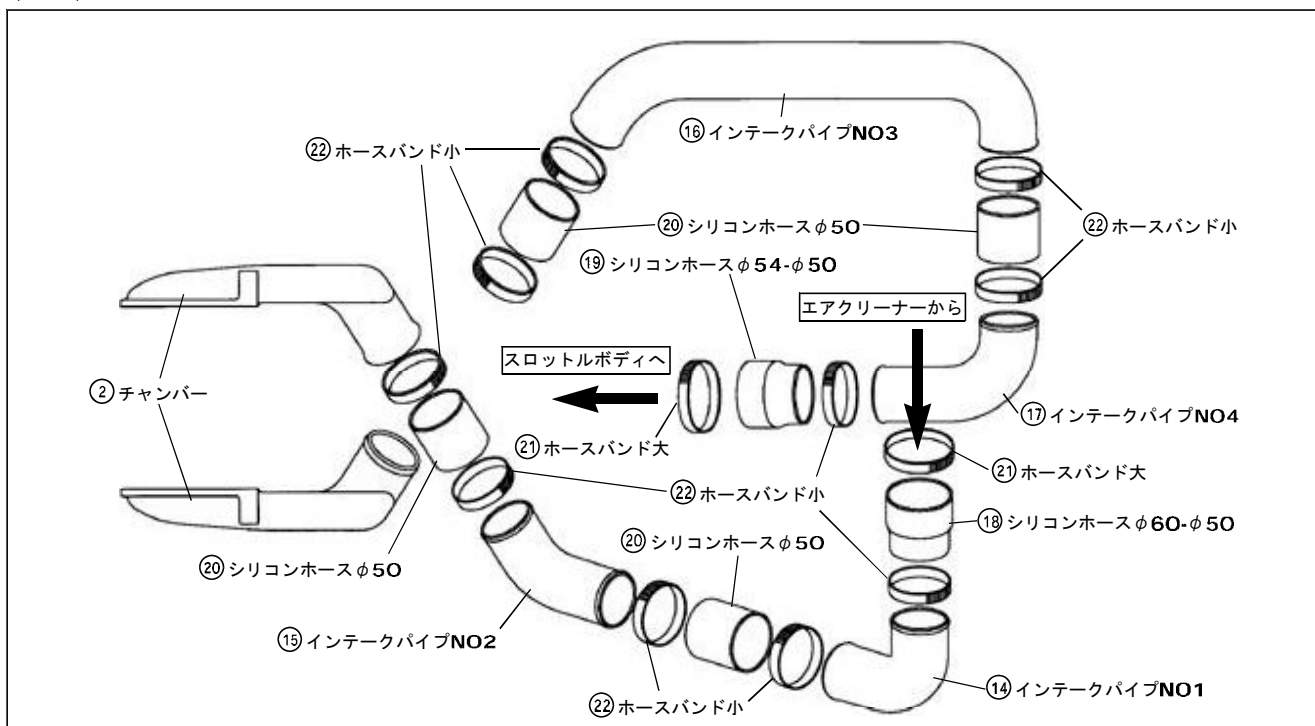
※トルク $18.5\text{N} \cdot \text{m}$



(16) ⑬ Vベルトを取り付け ⑫ テンショナーカラー、⑥ テンショナープーリーを ⑳ ナットで仮止めする。



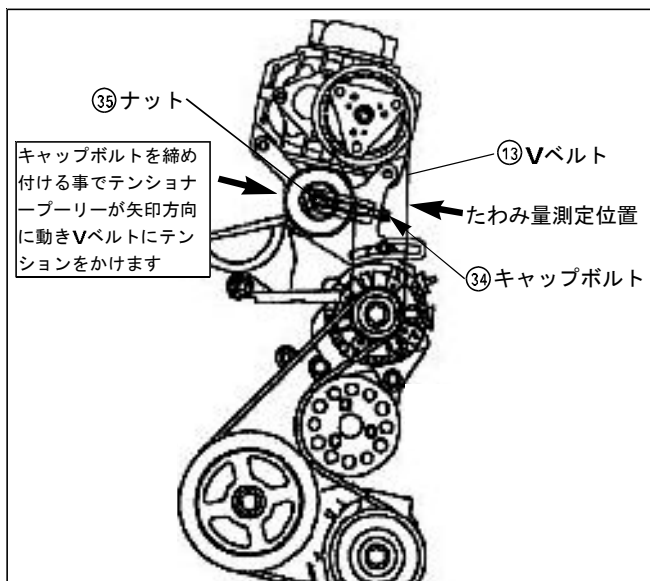
(17) 下図の様にインテークパイプを取り付ける。



(18) ⑬ インテークパイプNO3のステー部を純正インテークマニホールドのボス部に固定する。(純正のスタッドボルトを使用して下さい。)

(19) インテークパイプの位置を調整しホースバンドを締め付ける。

(20) ⑭ インテークパイプNO1のφ16パイプ部分に純正ブローバイホースを純正クリップで取り付ける。



(21) コンプレッサー用Vベルトを仮付けし、図のキャップボルトを締め、たわみ量を調整し、図のナットを締め付ける。

※トルク 35N・m

コンプレッサー用Vベルトたわみ量

	新品取付時(mm)	点検時(mm)
Vベルト	7~8.5	11~13



(22) ボンネット裏の防音材とチャンバーが干渉する部分があります。防音材を取り外すか、干渉する部分を切り取ってください。

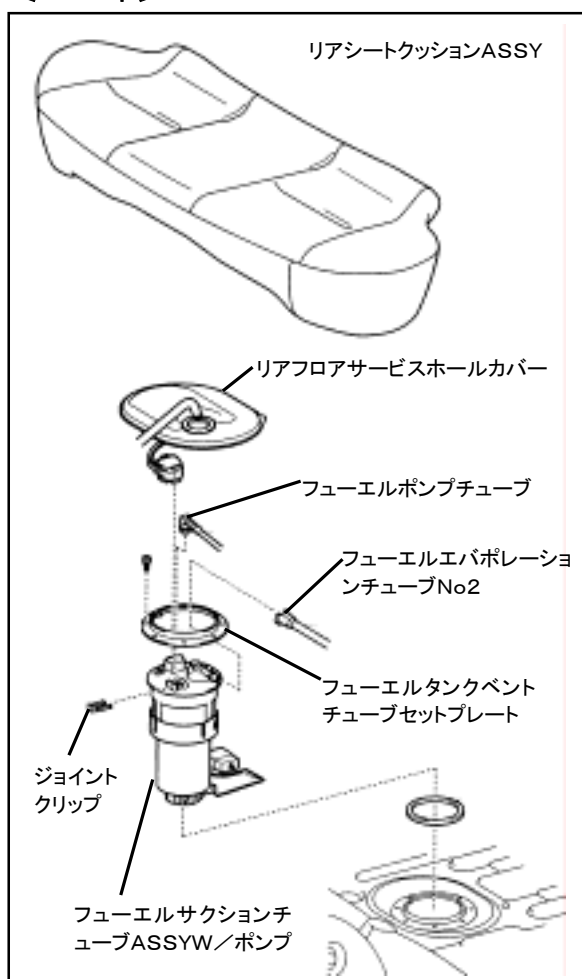
(23) ブースト計等を取り付ける場合は、絵図の純正バキュームホースに (41) 三方ニップルを割り込ませブースト圧を取ってください。

(24) 純正エンジンフードカバーを取り付ける場合はキット部品に干渉する部分を切り取って取り付けてください。

※ヘッドカバー側のナット(2ヶ)で取り付けてください。

※付属の型紙を参考にしてください。

〔6〕フューエルポンプ、レギュレーターの交換
・〔2WD 車〕



①分割可倒式 ヘッドレストを取り外し、後部座席を前方に倒す。

一体可倒式 リアシートクッションASSYを取り外す。

②リアフロアサービスホールカバーを取り外す。

③フューエルポンプコネクタを外す。

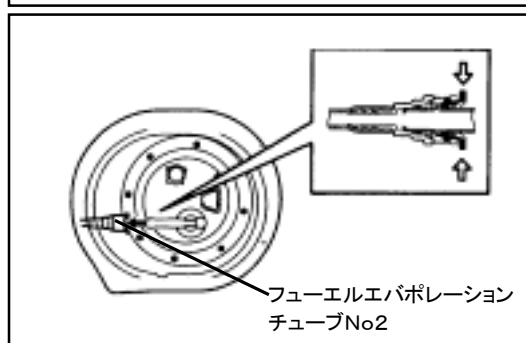
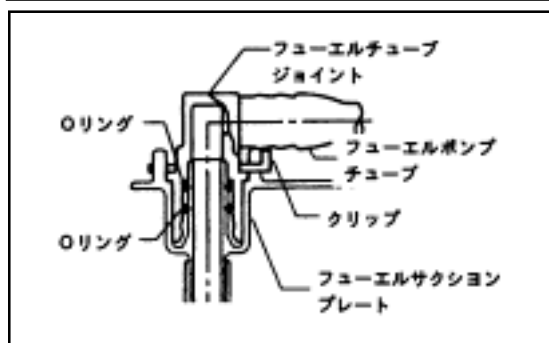
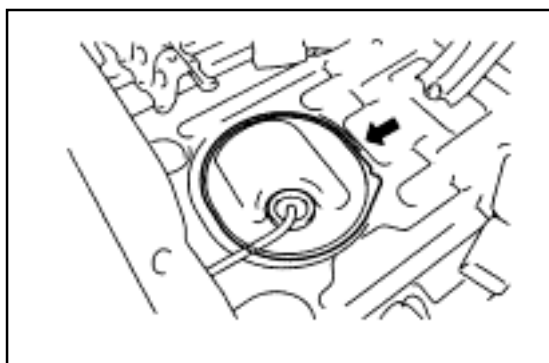
④フューエルポンプチューブ取り外し

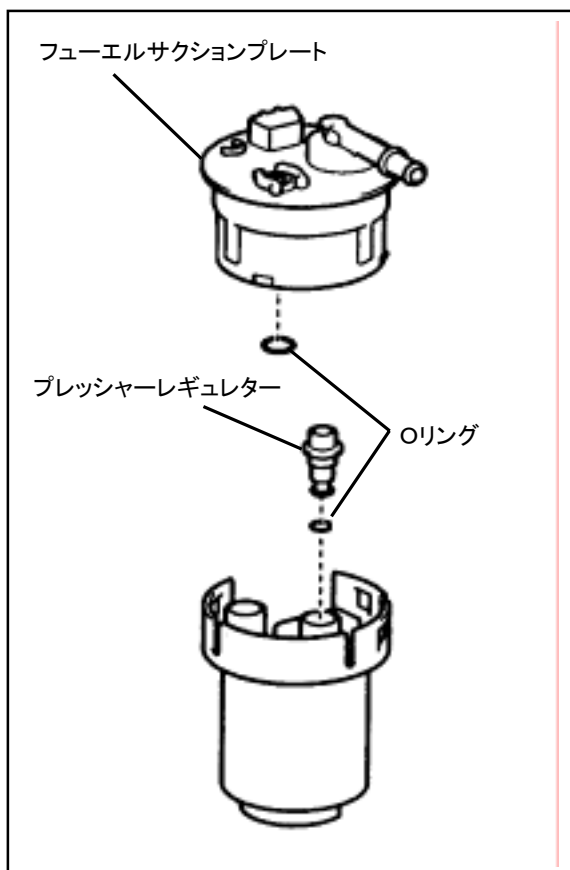
(a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。

(b) ジョイントクリップをはずし、フューエルポンプチューブを上方に引き上げる。

注意・ クイックコネクタは O リングによりナイロンチューブサクシジョンプレートのプラグ部をシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

- ・ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・ プラグ部に異物などを付着させない。
- ・ 切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。





⑤フューエルエバポレーションチューブ No2 取り外し

- (a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。
- (b) フューエルチューブコネクタクリップ先端を指でつまんでコネクタを引き抜いて外す。

注意・ フューエルチューブジョイントは O リングによりフューエルポンプチューブとフューエルサクシヨンプレートをシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

- ・ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・ プラグ部に異物などを付着させない。
- ・ 切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。
- ・ コネクタが固着している場合は、押し引きしたりして固着を解除する。

⑥ボルト(8ヶ)を外し、フューエルタンクベントチューブセットプレートを取り外す。

⑦フューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプを取り外す。

⑧マイナスドライバーを使用して、ロックを外し、フューエルサクシヨンプレートを取り外す。

⑨フューエルプレッシャーレギュレーターを取り外す。

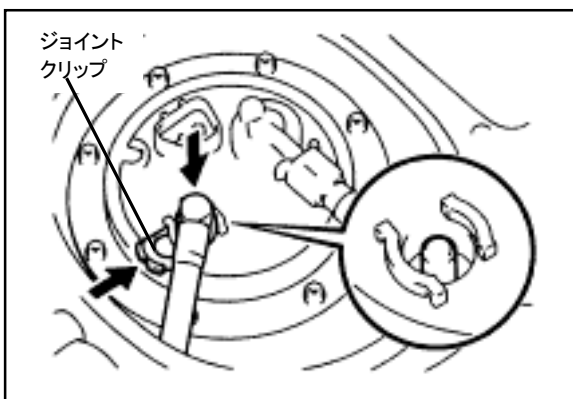
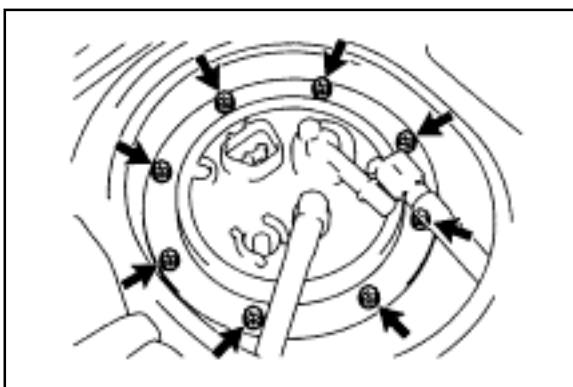
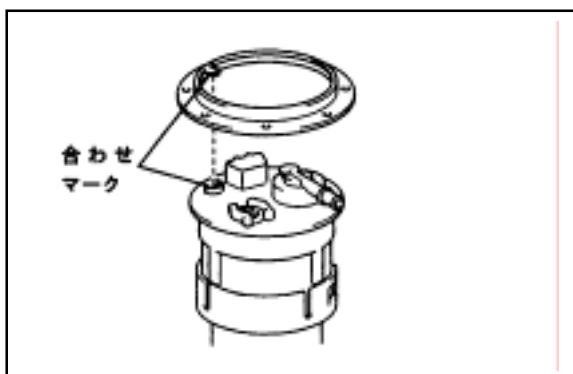
⑩図で指示している部分を、棒ヤスリなどを使用して図のように加工する。

⑪加工した部分に (28) レギュレーターの突起部分を合わせ、図のように取り付ける。

注意・加工した部分でOリングを傷つけないよう十分注意して作業してください。

- ・加工後はフューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプを十分洗浄し、加工粉などを完全に取除いてください。
- ・加工粉などがフューエルサクシヨンチューブ ASSY W/ポンプ内に残っているとエンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

⑫純正フューエルポンプを取り外し (23) フューエルポンプを取り付ける。



⑬フューエルサクシオンプレートを、元通り取り付け。

⑭取り外しと逆の手順でフューエルサクシオンチューブ ASSY W/ポンプを取り付ける。

⑮フューエルタンクベントチューブセットプレートを元通り取り付け。

⑯フューエルエバポレーションチューブ No2を元通り取り付け。

⑰フューエルポンプチューブを元通り取り付け。

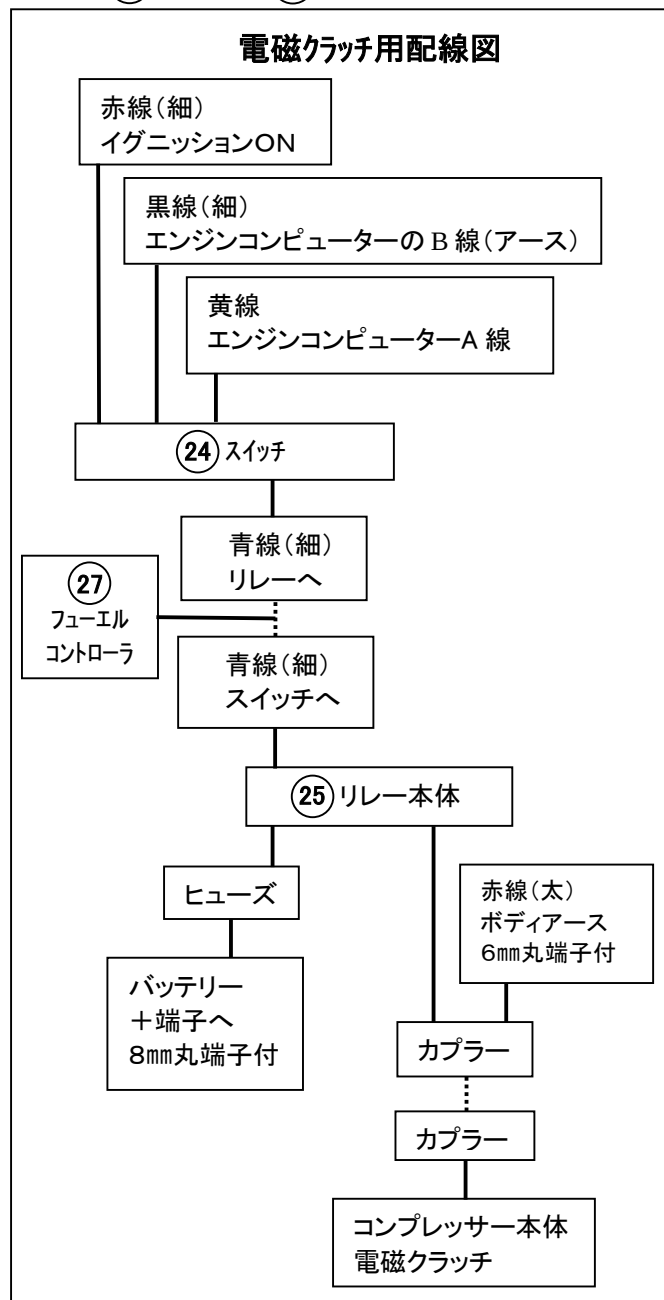
※ジョイントクリップはロックが掛かるまでしっかりとめ込んでください。ジョイントクリップが外れると、燃料漏れを起こす恐れがあります。

⑱フューエルポンプコネクタを、元通り取り付け。

⑲リアフロアサービスホールカバーを元通り取り付け。

⑳リアシートを元に戻す。

〔7〕 ②④ スイッチ、②⑤ リレーハーネスの取り付け



① 助手席側グローブボックス下側のエンジンコントロールコンピューターカバーを取り外す。

② ②⑤ リレーハーネスのカプラーを①コンプレッサー本体から出ているハーネスカプラーに接続する。

③ ②⑨ フランジボルトを使用して、②⑤ リレーハーネスのリレー本体を、適当な位置に固定する。

※ プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しない場所に固定してください。

④ ②⑤ リレーハーネスのカプラーから出ている赤線(6mm丸端子)を、ボディアース位置に取り付ける。

⑤ リレー本体から出ている赤線(8mm丸端子)をバッテリープラス端子に接続する。

⑥ リレー本体から出ている青線を、助手席側の室内に引き込む。

※ ハーネスをφ7コルゲートチューブで被覆し、プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しないよう、タイラップで固定してください。

※ バッテリーに接続する線と、ボディアースする線を、間違えないように注意してください。

- ⑦ ②④ スイッチの黄線を、次ページからの ECU 配線図の A 線にエレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
- ⑧ ②④ スイッチの黒線(細)を、次ページからの ECU 配線図の B 線(アース)に、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
- ⑨ ②④ スイッチの赤線(細)を、イグニッション ON 電源線に、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
- ※赤線(細)は、適当な長さに切って使用してください。
- ⑩ ギボシ・スリーブセット(1ヶ)を使用して、②④ スイッチの青線を、⑥で室内に引き込んだ ②⑤ リレーハーネスの青線と接続する。

[8] ②⑦ フューエルコントローラ取り付け

- ① 次ページからの ECU 配線図に従って、②⑦ フューエルコントローラ配線と純正 ECU 配線および ②④ スイッチの青線を、エレクトロタップ(8ヶ)を使用して接続します。

※全て、又取りです。

※配線の断線・接続不良には、十分注意して、作業してください。最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

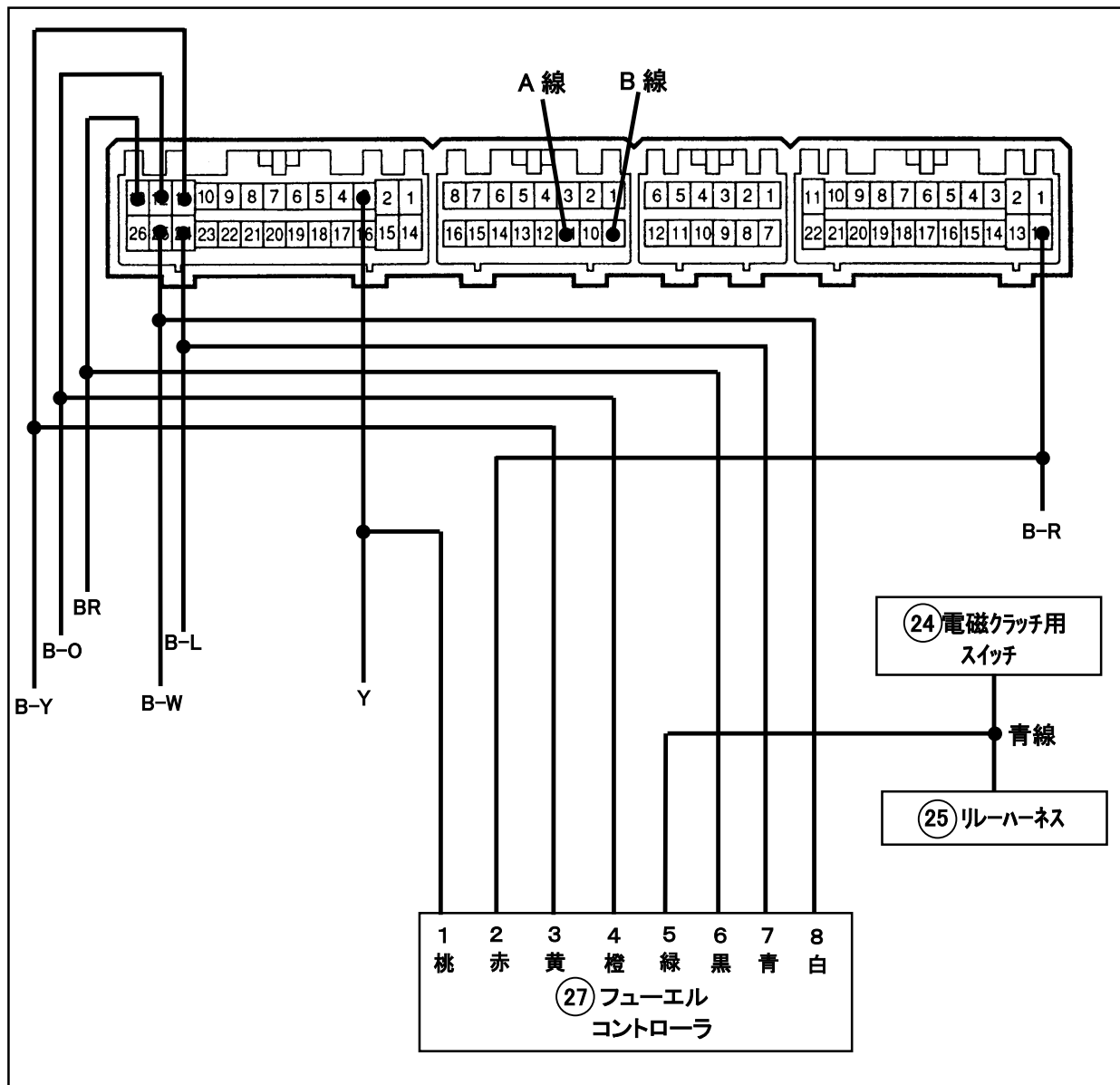
- ② ②⑦ フューエルコントローラを純正コンピューターの上側に貼り付ける。

- ③ 配線類を、タイラップを使用して、固定する。

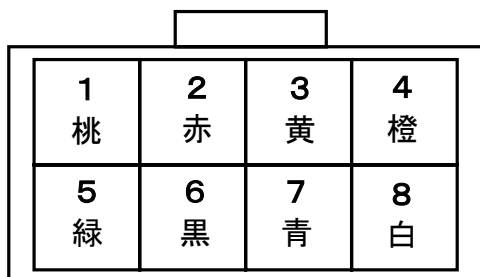
※高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

- ④ エンジンコントロールコンピューターカバーを元のように取り付ける。

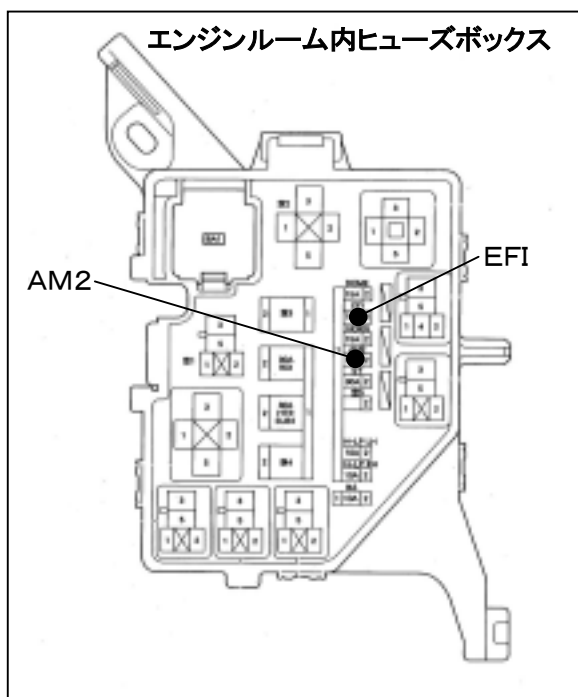
ECU 配線図



②⑦ フューエルコントローラ端子配列図



図中記号	ECU 配線色
Y	黄
BR	茶
B-L	黒地に青ライン
B-O	黒地に橙ライン
B-R	黒地に赤ライン
B-W	黒地に白ライン
B-Y	黒地に黄ライン



- ⑤ エンジンルームヒューズボックス内のAM2 (15A)ヒューズを、④3 ヒューズ(20A)に付け替える。
- ⑥ フューエルタンクキャップを元通り閉める。
- ⑦ バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- ⑧ エンジンルームヒューズボックス内のEFIヒューズ(15A)を取り外し、15秒以上経過後ヒューズを接続する。
- ⑨ イグニッションキーをONにし、アクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認する。
※エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。
- ⑩ エンジンを始動し、アイドリング状態で5～10分間放置する。

以上で、本キットの取り付けは終了です

〔7〕取り付け後の確認

■ エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

■ エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサーから異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

〔8〕メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

■ コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
- ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)

※キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

■ Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整

※Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際は500km以内で、張りを調整して下さい。

- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。

※Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

〔9〕推奨パーツ

- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B-6 コードNo. 14436
- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B-7 コードNo. 14437
- ・ Vベルト(4PK750) コードNo. B9335

●製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

■連絡先 (株)ブリッツ

■TEL 0566-79-2200

■住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 ■FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社 ブリッツ
取扱説明書番号	10171002
初版作製年月日	2005. 11. 1

BL⚡TZ